



新年号となる今回は、市内で活躍している若手経営者・女性経営者にスポットを当てます。各分野で頑張る経営者6人をお迎えし、これからのタカサキについてお話を伺います。



市長対談
ほっとタイム

タカサキの未来

新年を迎えて
若手・女性経営者と語る



富岡 賢治市長
自分たちができることは何でも挑戦して高崎を若者でにぎわう魅力のあるまちにしたいと考えている



神戸 俊之さん
高崎問屋街青年経営者研究会会長。群馬自動車燃料販売株式会社常務取締役。問屋町の活性化に尽力している



佐藤 貴江さん
高崎女性経営者研究会会長。株式会社セイモーター常務取締役。女性が働きやすい環境づくりを目指す

活性化するまちなか

市長 今回は、経営者として各分野で頑張っている皆さんから課題や将来の展望について伺いたいと思います。まず富澤さん、高崎青年会議所が首都圏からの移住をPRする「高崎移住計画」を始めたきっかけは？

富澤 活気あるまちを作るには、まず人がいないと始まらないので、交流人口だけでなく、定住人口を増やそうと考えたんです。イメージアップを狙って高崎のCMのコンテストも実施しました。

市長 若い人が集まってくる感じがしますね。

富澤 はい。今年はまた違う手法を考えます。最終的に人口増につなげたいですね。

市長 大変いいプロジェクトですね。次に商業分野では、瀬間さんの商業者研究会。高崎は昔から商業のまちで、何と言っても卸小売業の売上高が都市別ランキングで全国14位。これは驚きの数字ですよ。商業の分野では皆さん頑張っていますが、客離れというような危機感はありませんか？

瀬間 はい。ありますね。

市長 どんなに道や建物をつくっても、お店や通りに魅力が無ければ人は来ません。個々の店づくりに活用してもらうため、3年前から商店リニューアル助成金というのを始めたんですよ。

瀬間 すごくですよ。今度駅前には大型商業施設ができることで、まちに人が集まってくると思っています。さらに例えば大きなイベントを開催するなど、個々の店が力を合わせるなど、

世界に広がる高崎のものづくり

市長 青島さんが所属する青年経営者協議会（青経）としての課題はありますか？

青島 青経は、今年60周年を迎えます。さらに個々のスキルと団結力を強めていきたいと考えています。高崎のものづくりの技術にもっと光が当たるようにしていきたいですね。

市長 高崎のものづくり技術は相当なレベルですよ。海外で開催しているものづくりフェアでもPRさせてもらっています。羽鳥さんは今の高崎のものづくりの分野に危機感を感じていますか？

羽鳥 はい。人材と技の継承です。売値や納期などの問題もあります。大企業の注文に

どう応えるかを毎日社長が頭を悩ませて。

市長 昨年10月、シンガポールで開催したのものづくりフェアに、羽鳥さんの会社を始め、高崎の技術・技能を待ってる数多くの人たちに参加いただきましたね。

羽鳥 そうですね。ビジネスチャンスが広げられるという感じでした。日本に支店があるシンガポールの企業を教えてもらったりしましたね。

市長 ものづくりの人達にも、ガッツを持ってやってもらいたいですね。

若者が集う副都心に

市長 問屋町が拠点の神戸さん。由緒ある卸商店街が最近、様変わりしてきましたよね。

神戸 そうですね。大学ができて、ましが若返りました。

市長 問屋町は副都心的になってきたと思いますが、地域の人たちはどう感じていますか？

神戸 若い世代と共存したいという考えです。飲食など若者が滞留するような店が必要ですね。問屋町にある展示施設のビッグキューブで開催するさまざまなイベントには、多くの人たちに来場いただいています。人がどんどん出入りするようなまちにしたいですね。

各分野に女性の力あり

市長 佐藤さんは建設の分野ですね。今は結構仕事が多いですよ？

佐藤 そうですね。ただ、技術者不足はこの企業も同じじゃないでしょうか。

市長 建設の分野にも女性は増えてきましたか？

佐藤 増えてきてます。弊社にも一人電気工として女性がいます。女性はやっぱり自分の使える時間で働けると思ふんと負担が違ってくると思うんです。例えば8時間という労働時間の中で、ある程度その人のライフスタイルに合わせて就労ができるようにしたい。自分の会社でも実現していきたいと思っています。

市長 なるほど。私も頑張る女性を応援していますよ。人や仕事を増やしたり、交流を増やしたり、まちづくりを考える上では、やはり福祉や教育、医療などの充実が不可欠です。私はそういった施策を全部見直していこうと思っています。それぞれの分野の人たちがベストを尽くすことで、魅力のあるまちになるんですよ。今後とも皆さん、ご協力ください。本日はお忙しいところありがとうございます。一同 ありがとうございます。



高崎駅西口に建設が進む大型商業施設



青島 真一さん
高崎青年経営者協議会理事長。(有)高崎塗装工業所代表取締役。ものづくり分野の他、キングオブパスタ運営に尽力



富澤 太郎さん
公益社団法人高崎青年会議所理事長。(有)三喜鶏園代表取締役。会議所では若い世代を始めとした「移住」を推進



羽鳥 和佳さん
一般社団法人高崎法人会女性部会理事。(株)羽鳥鉄工所常務取締役。法人会は子ども向けの租税教育に取り組む



瀬間 貴洋さん
高崎市青年商業者研究会会長。(有)セマコーポレーション専務取締役。商業経営の自主的な研究・改善を目指す